

神経構造機能学 2018 本試 再現問題 2018.07.06 実施

<山口先生範囲>

A A3 で 1 枚

小説を読んで下線部の情報を伝える神経路について詳しく述べなさい。(小説の文章の再現は不可能なので要所のみ羅列した)

※矢印だけを用いての簡潔すぎる回答はやめてほしいとの指示あり

(a)手の指を動かしてみた

(b)脚の痛みを感じた

(c)手で触ると平らであることが分かった

(d)周りにあるものが見えた

(e)体中に暖かさを感じた

BA3 で 1/2 枚

小説を読んで下線部に関する神経路について詳しく述べなさい。(小説の文章の再現は不可能なので要所のみ羅列した)

(a)顔面が真っ青になった

(b)激しい動悸を感じた

CA3 で 1/2 枚

(a) 側方注視の経路を書け。

(b)偽の記憶の形成方法について書け。(最先端からの出題)

(c)脊髄 S2-4 の損傷による影響を考察しなさい。

(d)大脳皮質から大脳基底核への投射 (線条体内の投射と黒質緻密部からの投射は省略して良い) とバリズムスで多動が発生する機序について記述しなさい。

DA3 で 2 枚

脳の正中矢状断と前頭断の写真(アトラス?)を見て各部分の名称・関する神経繊維・機能
視交叉上核の位置を図に書き込む問題 など

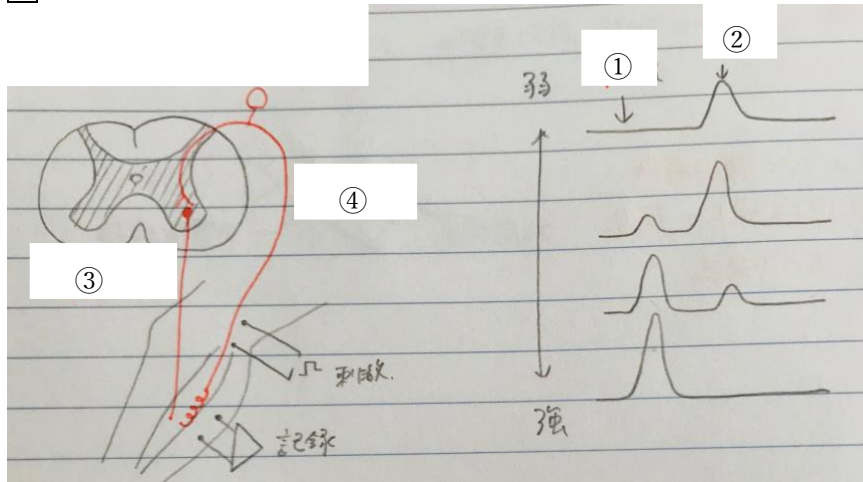
<中村先生>A3 で 1 枚

A17 野（層構造、チトクロームオキシターゼ反応、P-pathway M-pathway、内因性シグナル、膝状体など）について述べよ。

B 頭頂連合野（空間認知、眼球運動）について述べよ。

<佐竹先生> A4 で 3 枚

A 以下の図の経路について答えなさい。



1) ①～④の空欄にあてはまる繊維と波の名称を答えよ。

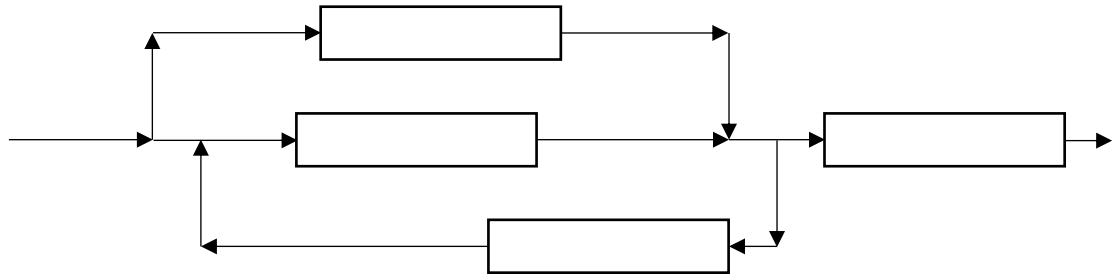
① ② ③ ④

1) この反射とその意義について書きなさい。

2) ①波の出現と②波の消失の理由を書きなさい。

B 前庭神経核の II 型ニューロンについて説明

C 以下の図に、逆モデル・順モデル・運動制御器・筋のうち適切な語を埋めて簡潔に説明しなさい。



D 活動電位 ○×問題 (×は正しい語句に訂正)

<梅原先生> A3 で 2 枚

A 穴埋め問題 プルキンエ細胞 (層)、顆粒 (層)、
プルキンエ細胞の樹状突起が矢状断面方向など

B 小脳核 4 つを正中線から順に書き、それぞれの働きを述べよ。

C 穴埋め問題 半規管、耳石器など

D 頭を上から見て反時計回りに回転させた時に起こる眼球運動を (膨大部流という言葉を用いて) 簡潔に説明せよ。

＊再現問題作成者の感想

初（久々？）の小説問題と A3 で 2 枚に及ぶ写真問題に苦しめられた試験でした。レジュメ全体から満遍なくというよりはむしろ脊髄・延髄の経路重視で出題されているような気がします。山口先生範囲重視で勉強している子が多いように感じたけれど（勿論配点が高いことを考えれば妥当ですが）その他の先生方の範囲も完璧にとまでは行かずとも、ある程度は見ておいた方が良さげ。もじゃ先生は過去問から出そうなところある程度推測できるし、佐竹先生は授業中に出すところ指定してくれるので。梅原先生は事前に言っていたように、基礎問題から難しめまでバランスよく出しているようでした。

山口先生が試験中に神経の伝達経路を矢印で示さないように、と指定していましたが、交叉・乗り換えまで記述した方が良さそうです。

ミクマク後で燃え尽き症候群になっている所に特攻してくる感じなのでみなさんは燃え尽きないように頑張ってください…。

再試対象者 ：48 名（学年 124 名）

試験結果発表日：7 月 20 日

再試 ：8 月 21 日